

## はしがき

本書は『はじめての政治学』の第2版である。初版第1刷の刊行は2014年の春であった。菜の花で高野川の中洲が黄色に染まる季節である。本書は、この第2版にいたる約3年の間に、多くの方に読んでいただけた。また、政治学のテキストとして、ふた桁の大学で採用していただいているとのことである。筆者一同、うれしい気持ちでいっぱいである。

いまや、私たちの学部時代（もう約20年前！）とは異なり、政治学に関する優れたテキストがたくさんある。しかし、それらのテキストは、政治や政治学にあまり関心がない学生たちにとって、言葉や文章などが少しむずかしいようであった。そこで、わかりやすい言葉と文章で政治学を学んでもらうために、また政治の問題を自分たちの問題としてとらえてもらうために執筆したのが、本書である。このように、本書の主な読者層は、大学や短大で政治学を学ぼうとする学生を対象としているが、政治学の基礎知識を身につけたいという社会人にも読んでいただければと思う。

この『はじめての政治学』をきっかけに、政治や政治学に関心をもつ人たちが増えてくれれば……、そのような心持ちで、筆者らは本書を執筆した。この本を読み終えて、「政治って、おもしろい！」と感じていただければ、また「政治学をもっと学びたい！」という気持ちになっていただければ、うれしいかぎりである。さらに政治学を学びたい方は、本書のうしろにある「読書案内」を参考に、政治学の世界のさらなる奥へと歩んでほしい。

最後に、『はじめての政治学』を大事に見守ってくれる法律文化社の小西英央さんに、感謝の旨を伝えたい。かぎられた時間のなかで、初版に引き続き今回の第2版でも、小西さんには大変お世話になった。筆者一同、感謝を申し上げる次第である。

佐藤 史郎